

要綱別表第 1

開発行為(変更)届添付図書

開発行為届に添付する図書は、以下の順序により A 4 判にまとめるものとする。

書類	記載項目																					
(1) 開発計画概要書	1) 事業の目的 2) 計画の位置 3) 事業の規模(開発行為を行う事業区域の面積、開発行為を行う区域の面積) 4) 事業の工程(工事着手予定日、完了予定日)																					
(2) 管理計画書 (工事完了届提出まで)	1) 工事期間中の管理者等の氏名、連絡先 2) 維持管理の方法(点検項目、方法、回数) 3) 連絡体制の整備																					
(3) 重要調整池台帳	1) 重要調整池台帳(要綱様式第 5 号)に示す内容を記載。 ※複数の調整池がある場合、「重要調整池台帳」は設置する調整池毎に作成する。																					
(4) 下流河川・水路等調査書	1) 現地写真 2) 横断図 3) 水理計算書 4) 下流河川・水路管理者との協議結果、協議録																					
(5) 洪水調整計算書	1) 計画の基本条件 ①流域区分、集水面積及び直接放流区域 ②流出係数 2) 設計洪水流量、許容放流量、洪水調整容量の計算 ①洪水到達時間 ②計画対象降雨 ③許容放流量の設定 ④洪水調整計算、洪水調整容量の設定 ⑤流入・放流ハイドログラフ 3) 非常用洪水吐の設計流量 4) 計画堆砂量の計算、堆砂容量の設定 5) 洪水調整施設計画及び諸元の整理																					
(6) 添付図面	1) 位置図(縮尺 1/10,000 以上の地形図に開発行為の位置を記入) <table border="1" data-bbox="491 1541 1362 2022"> <thead> <tr> <th>記載事項</th> <th>着色等</th> <th>記入する内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①開発行為を行う事業区域の境界</td> <td>桃 色</td> <td>開発事業名、開発者名</td> </tr> <tr> <td>②開発行為を行う区域の境界</td> <td>赤 色</td> <td>開発行為を行う区域の面積</td> </tr> <tr> <td>③関連河川・水路等</td> <td>水 色</td> <td>河川名、流向</td> </tr> <tr> <td>④流下能力調査区間</td> <td>青 色</td> <td>ネック地点(許容放流量設定位置)</td> </tr> <tr> <td>⑤ネック地点での河川の流域界</td> <td>緑 色</td> <td>集水面積</td> </tr> <tr> <td>⑥関係市町境界</td> <td>橙 色</td> <td>市町名</td> </tr> </tbody> </table>	記載事項	着色等	記入する内容	①開発行為を行う事業区域の境界	桃 色	開発事業名、開発者名	②開発行為を行う区域の境界	赤 色	開発行為を行う区域の面積	③関連河川・水路等	水 色	河川名、流向	④流下能力調査区間	青 色	ネック地点(許容放流量設定位置)	⑤ネック地点での河川の流域界	緑 色	集水面積	⑥関係市町境界	橙 色	市町名
記載事項	着色等	記入する内容																				
①開発行為を行う事業区域の境界	桃 色	開発事業名、開発者名																				
②開発行為を行う区域の境界	赤 色	開発行為を行う区域の面積																				
③関連河川・水路等	水 色	河川名、流向																				
④流下能力調査区間	青 色	ネック地点(許容放流量設定位置)																				
⑤ネック地点での河川の流域界	緑 色	集水面積																				
⑥関係市町境界	橙 色	市町名																				

2) 流域図(縮尺 1/1,000~1/5,000 の地形図に記入)

記載事項	着色等	記入する内容
①開発行為を行う事業区域の境界	桃色	開発事業名、開発者名
②開発行為を行う区域の境界	赤色	
③開発行為を行う区域	黄色等薄く着色	開発・非開発区域面積、直接放流区域面積
④関連河川・水路等	青色	河川・水路名、流向
⑤集水・排水等	水色矢印	集水系統、排水系統、地盤高、放流先名称
⑥開発前の流域界	紫色	
⑦開発後の流域界	緑色	集水区域面積、直接放流区域面積

3) 土地利用計画図(縮尺 1/1,000~1/5,000 の地形図に記入)

記載事項	着色等	記入する内容
①開発行為を行う事業区域の境界	桃色	開発事業名、開発者名
②開発行為を行う区域の境界	赤色	開発区域面積
③調整池流域界	緑色	
④土地利用形態毎の区域	区域毎に薄く着色	土地利用形態毎の面積、流出係数

※現況と開発後の図面は分けても良い。

※現況土地利用の確認に必要な現地写真を添付すること。

※開発行為を行う区域における開発前後の流出係数の加重平均値を示すこと。(届出における流出係数の確認用)

※また、集水区域における開発前後の流出係数も示すこと。(洪水調整計算用)

4) 重要調整池計画図面(縮尺は図面に記載すること)

- ①重要調整池一般図(平面図、堤体縦断図、堤体標準横断図)
- ②放流施設一般図(平面図、縦断図、横断図)
- ③その他付属施設一般図(平面図、縦断図、横断図)

[提出部数]

添付図書の提出部数は、開発面積が 10ha 以下の場合には 2 部、10ha を超える場合には 3 部とする。ただし、開発行為の内容により必要部数を別途指示する場合がある。